

## 第1回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和2年度 第1回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和2年9月24日(木) 14:00～15:27
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 委員会室3
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由 (会議を非公開とした場合のみ)

### 6. 出席者

#### (1) 委員

美谷薫委員、吉岡滋樹委員、澤村健治郎委員、吉安勝行委員、三船國弘委員、西森章雄委員、大森成順委員、上野美智子委員、永富靖人委員、野見山桂子委員、松田クニ子委員、  
\*欠席委員1名 大里理子委員

#### (2) 執行機関

市長 赤間幸弘、企画財政課長 大村輝生、企画財政課長補佐 田中ひふみ、  
財政係長 野見山泰秀 行政改革推進係 和多美幸

7. 傍聴人数 (会議を公開した場合のみ) 0人

### 8. 議題及び審議の内容

- ・委嘱書交付
- ・市長あいさつ
- ・委員・事務局紹介
- ・会長、副会長の選任
- ・諮問

#### 【議題】

- (1) 今後のスケジュールについて
- (2) これまでの行政改革、行政評価制度及び審議会の役割について
- (3) 財政状況について

#### 【審議の内容】

- (1) 今後のスケジュールについて

審議会スケジュールについて、今後の審議の流れとともに資料により説明を行った。  
(事務局)

- (2) これまでの行政改革、行政評価制度及び審議会の役割について

これまで市で行ってきた行政改革、行政評価及び審議会の役割について、資料に沿って説明を行った。(事務局)

- (3) 財政状況について

市の財政状況について、資料に沿って説明を行った。(事務局)  
説明を受け、次のような質問及び意見が出た。(委員)

・合併特例債は、どういった内容か。また、どう使われているのか。

→合併特例債を使って行う事業については、財政計画にあげており、使い道については、地域振興基金という基金造成分もあわせて、次回審議会に資料として提出する。

・職員数が減ると、サービスも低下するのではないかと不安である。職員数の「適正化」と言われるが、「適正化」とはどういうことか。

→各自治体で測定方法は異なっているが、一般的に、職員数は人口の1%と言われている。今後人口が減っていくことに伴って、職員数も減らしていくという考え方である。財政計画上では、職員数を350人にしないと市の財政が成り立たない計画になっている。

職員数は減らすが、業務を委託できる部分は民間に委託し、サービス水準は落とさない。

・同規模の団体の中で、職員数は多いのか、少ないのか。

→類似団体の状況を、次回審議会に資料として提出する。

・職員数の中には、臨時職員等、正規職員ではない人たちの数も含まれているのか。

→含まれていない。資料中の歳出でいうと、平成31年度までは「その他の経費」、令和2年度からは「人件費」の部分に含まれている。

・臨時職員等の人数はどう推移しているのか。

→次回審議会に資料として提出する。

・資料中の「歳入面」の部分で「国・県からの財政支援」という言葉は、適切ではない。

・国などを積極的に訪問して、補助金等の要望をしている部署はあるのか。

→特定の部署はない。

・移住・定住の推進について、効果を知りたい。

→次回審議会に資料として提出する。

・ふるさと納税の返礼品などへの意見はあるのか。あれば内容を知りたい。

→次回審議会に資料として提出する。

・庁舎や学校の跡地もそうだが、公共施設の解体を行うと遊休地ができる。市に大きな会社に来るのが一番いいが、近隣の県内市町村に大きな会社ができたら、その会社に付随した会社も来るので、そういった会社を誘致してはどうか。また、予算がつかないとか言われるが、企業誘致の活動状況はどうなっているのか。

→現在市では、サテライトオフィスに職員を派遣し、企業との情報交換を行っている。次回審議会に実績等を資料として提出する。

#### (4) その他

第3次行政改革実施計画平成31年度実施状況について、各自内容を確認し、次回の審議会に審議を行うこととした。

#### 9. 配布資料

- ・令和2年度第1回嘉麻市行政経営推進審議会次第
- ・審議会委員名簿（資料1）
- ・令和2年度行政経営推進審議会スケジュール（資料2）
- ・嘉麻市行政経営推進審議会条例及び施行規則（資料3）

- ・令和元年度行政経営推進審議会答申（資料4）
- ・これまでの行政改革の取組み（資料5）
- ・嘉麻市の財政構造の課題と対策
- ・第3次嘉麻市行政改革実施計画実施状況（平成31年度）
- ・第3次嘉麻市行政改革実施計画